



平成 29 年度

# 心理検査 (WISC) の解釈と活用研修講座

●平成 29 年 10 月 4 日 (水)

特別な教育的ニーズのある子どもへ効果的な指導を行うためには、子どものつまずきの原因を把握した上で、指導を展開することが大切です。本研修講座は、世界で最も普及している知能検査のひとつである WISC-IV の解釈方法を学ぶことで、つまずきの原因を探り、その子に合った指導を展開するための知識とスキルの習得を目指して行われました。

午前は、日本版 WISC-IV の作成に深く関わられた大六一志先生をお招きして、WISC-IV の解釈と結果の活用方法について、具体的に分かりやすくお話しいただきました。発達障害のある子どもの指導で目指すべきはスキル等の「熟達」であり、それが達成されるためには毎日・長期的に子どものつまずきに応じた指導を継続する必要がある等、示唆に富むお話をたくさんいただきました。

午後は、WISC-IV の検査結果からつまずきの原因を探り、具体的な指導の手立てを導き出す事例検討の演習を行いました。

受講者からは「断片的な知識が整理される有意義な研修だった」「今回の研修をきっかけにして、解釈の経験を積み重ねながら、子どものつまずきに寄り添える教師になりたい」等の感想が寄せられました。

